

2011年5月期
決算説明会

(証券コード：7713)

シグマ光機株式会社

平成23年7月13日(水)
東海東京証券株式会社 ホールA・B

1. 2011年5月期決算概要（連結）

（単位:百万円未満切捨）

	2010/5期		2011/5期			
	通期	構成比	業績予想	通期	構成比	増減率
売上高	6,046	100.0 %	6,820	7,024	100.0 %	16.2 %
営業利益	200	3.3 %	500	582	8.3 %	190.9 %
経常利益	373	6.2 %	660	732	10.4 %	95.9 %
当期純利益	173	2.9 %	270	330	4.6 %	90.5 %
1株当り当期純利益(円)	23円29銭	—	36円25銭	44円38銭	—	—

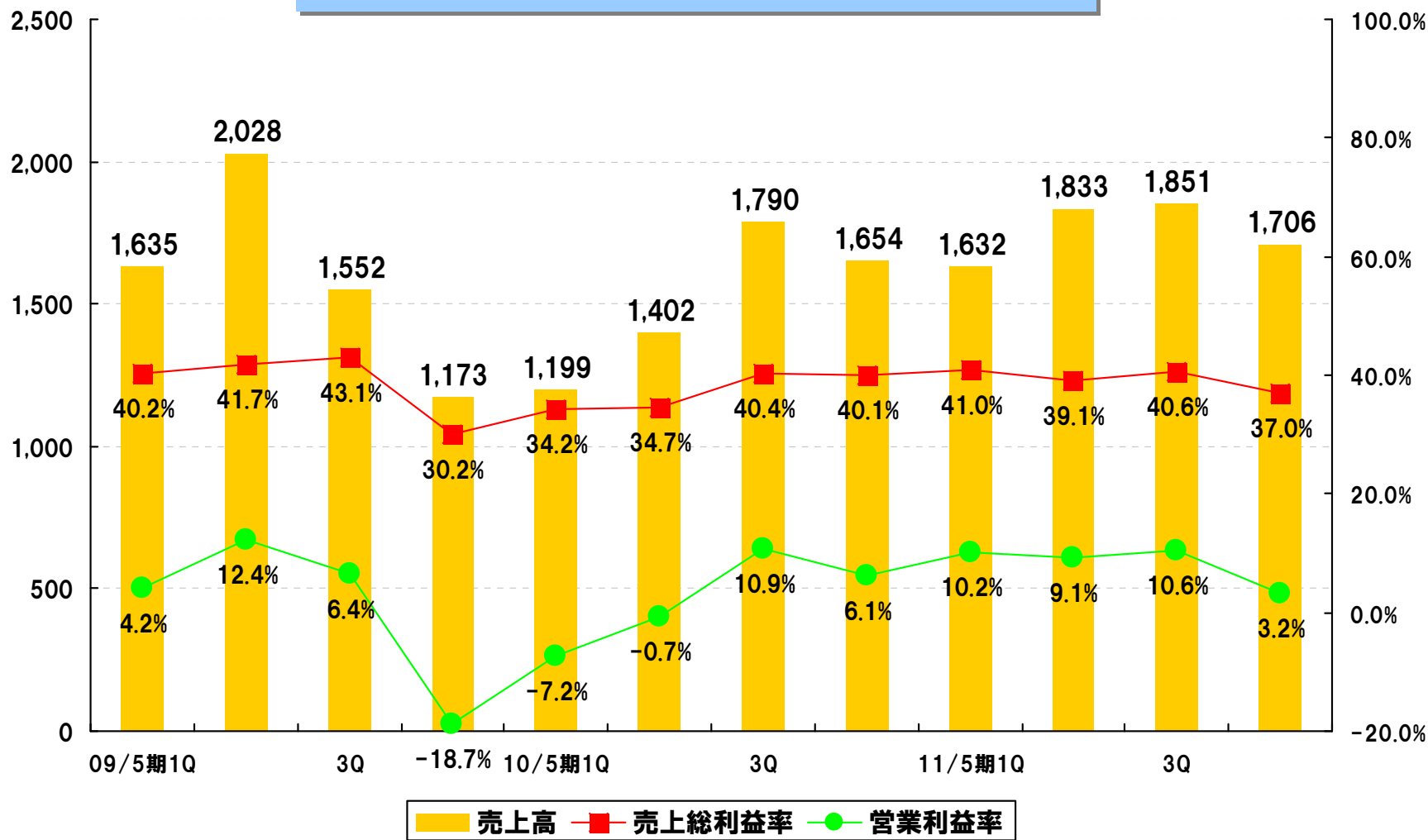
- ◎ 売上高は、携帯端末市場の需要の増加に牽引され、関連する半導体業界、フラットパネルディスプレイ（FPD）業界向けの自動・手動位置決め製品及び光学素子製品が堅調に推移。
- ◎ 営業利益及び経常利益は、売上の伸張、売上原価及び経費の削減の効果があり大幅増益。
- ◎ 当期純利益は、所有不動産等の減損損失を計上したものの大幅増益。

（注）業績予想は2011年1月11日付修正発表の数字。

四半期売上高・利益率推移（連結）

（単位：百万円未満切捨）

四半期実績（2009/1Q～2011/4Q）



セグメント別 売上高・営業利益推移（連結）

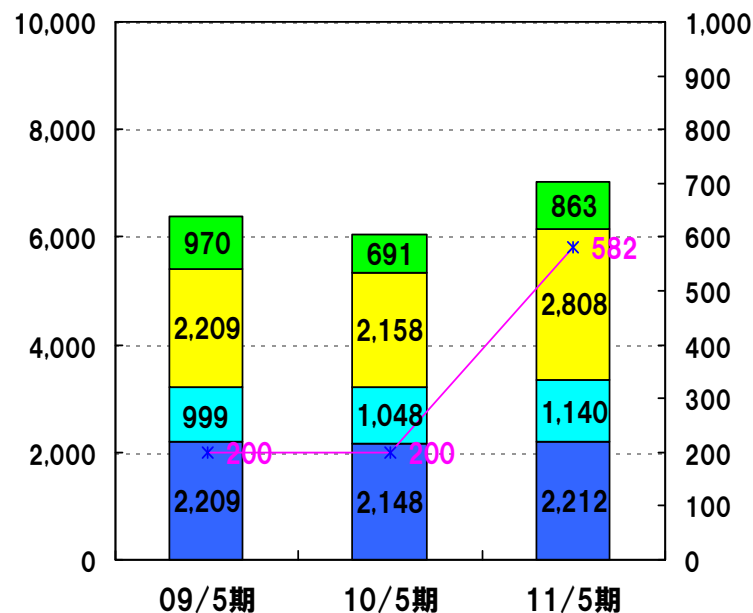
売上高

（単位:百万円未満切捨）

製品区分	09/5期	10/5期	11/5期	増減率
要素部品事業	5,419	5,355	6,161	15.1%
光学基本機器製品	2,209	2,148	2,212	3.0%
自動応用製品	999	1,048	1,140	8.8%
光学素子・薄膜製品	2,209	2,158	2,808	30.1%
システム製品事業	970	691	863	24.8%
光学システム製品	970	691	863	24.8%
合計	6,389	6,046	7,024	16.2%

（単位:百万円未満切捨）

（単位:百万円未満切捨）



営業損益

（単位:百万円未満切捨）

製品区分	09/5期	10/5期	11/5期	増減率
要素部品事業	781	751	1,241	65.2%
システム製品事業	-77	-105	-185	-
消去	(-502)	(-445)	(-473)	
合計	200	200	582	290.9%

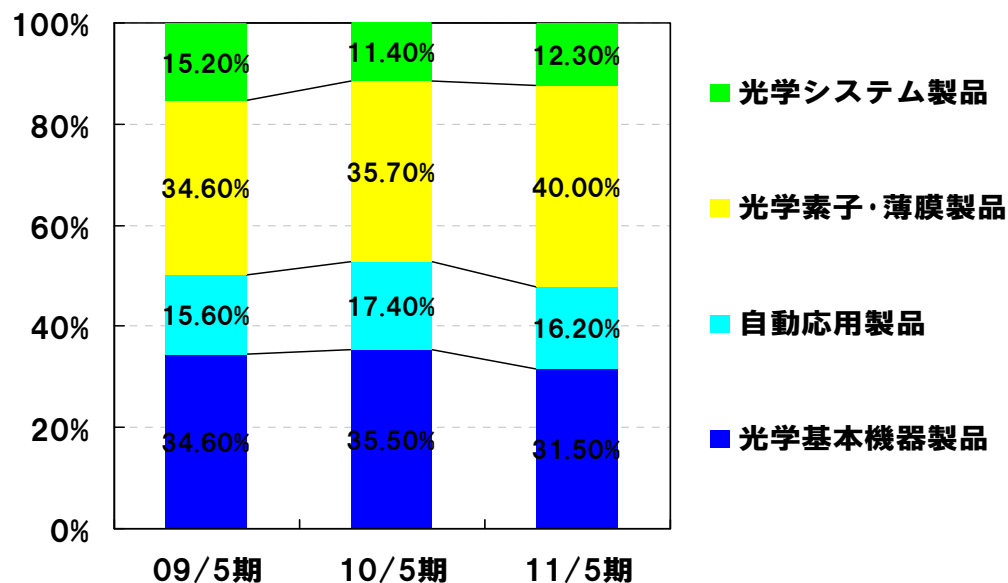
■ 光学基本機器製品 ■ 自動応用製品 ■ 光学素子・薄膜製品
■ 光学システム製品 ✱ 営業利益

セグメント別売上高構成比推移（連結）

（単位:百万円未満切捨）

製品区分	2009/5期		2010/5期		2011/5期	
	通期	構成比	通期	構成比	通期	構成比
光学基本機器製品	2,209	34.6 %	2,148	35.5 %	2,212	31.5 %
自動応用製品	999	15.6 %	1,048	17.4 %	1,140	16.2 %
光学素子・薄膜製品	2,209	34.6 %	2,158	35.7 %	2,808	40.0 %
光学システム製品	970	15.2 %	691	11.4 %	863	12.3 %
合計	6,389	100.0 %	6,046	100.0 %	7,024	100.0 %

（単位:%）



海外売上高構成比推移（連結）

（単位:百万円未満切捨）

	2010/5期		2011/5期		
	通期	構成比	通期	構成比	増減率
売上高	6,046	100.0 %	7,024	100.0%	16.2 %
海外売上高	1,153	19.1 %	1,579	22.5 %	36.9 %
北米	468	7.8 %	551	7.8 %	17.6 %
アジア・オセアニア	584	9.7 %	905	12.9 %	55.1 %
ヨーロッパ	91	1.5 %	110	1.6 %	20.4 %
その他	8	0.1 %	12	0.2 %	37.6 %

◎光学素子製品及び光学基本機器製品をはじめとした要素部品事業の受注が大幅に増加。

◎携帯端末市場の需要増加に牽引された半導体業界、フラットパネルディスプレイ業界の設備投資に牽引されたほか、通信業界での需要増加も要因。

2011年5月期 販売管理費の状況（連結）

（単位:百万円未満切捨）

	2010/5期		2011/5期		
	通期	構成比	通期	構成比	増減率
売上高	6,046	100.0 %	7,024	100.0 %	16.2 %
荷造運送費	87	1.5 %	97	1.4 %	11.1 %
広告宣伝費	57	1.0 %	69	1.0 %	20.0 %
人件費	1,147	19.0 %	1,148	16.4 %	0.1 %
減価償却費	100	1.7 %	89	1.3 %	- 11.3 %
賃借料	64	1.1 %	63	0.9 %	- 0.2 %
その他	625	10.2 %	716	10.1 %	14.6 %
販売管理費	2,083	34.5 %	2,186	31.1 %	4.9 %

◎前期からの継続による経費削減対応により、人件費をはじめとした、あらゆる経費の見直しを徹底した結果、売上高の増加率に比して経費増加率は低水準で推移。

バランスシート概要

(単位:百万円未満切捨)

	2009/5期	2010/5期	2011/5期	増減 (対前期末比)	備考
現金・預金	1,520	2,297	2,313	0.7 %	
受取手形・売掛金	1,588	1,948	2,057	5.6 %	受注増加に伴う売掛金増加
棚卸資産	1,671	1,361	1,716	26.1 %	受注増加に伴う在庫増加
その他流動資産	602	492	367	- 25.5 %	有価証券の減少
有形・無形固定資産	3,931	3,550	3,501	- 1.4 %	
投資等	3,225	3,169	3,129	- 1.3 %	
資産合計	12,540	12,820	13,086	2.1 %	
支払手形・買掛金	439	819	918	12.1 %	仕入増加による債務増加
短期借入金	259	179	136	- 23.7 %	
その他流動負債	308	430	613	42.3 %	未払法人税
長期借入金	168	97	81	- 17.1 %	
その他固定負債	523	545	603	10.7 %	
純資産合計	10,841	10,748	10,733	- 0.1 %	配当金支払
負債・純資産合計	12,540	12,820	13,086	2.1 %	

キャッシュフロー概要

(単位:百万円未満切捨)

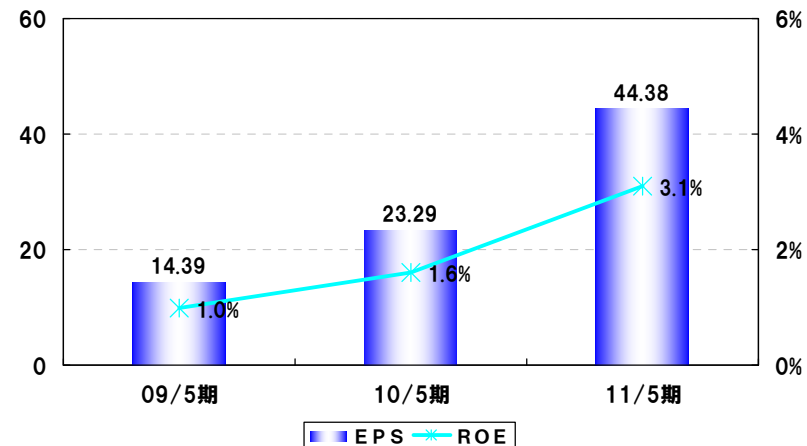
	2009/5期	2010/5期	2011/5期	備考
営業活動	897	1,149	546	減価償却費及び仕入債務増加による増加。 棚卸資産及び売上債権増加による減少。
投資活動	-290	-37	-364	有形無形固定資産の取得による減少。
フリーキャッシュフロー	606	1,111	181	
財務活動	-338	-374	-281	長期借入金の借入による増加。 配当金支払、長期借入金返済による減少。
現金及び 現金同等物の期末残高	1,287	2,000	1,865	

収益性分析の概要

連結EPS・ROE

	09/5期	10/5期	11/5期
当期純利益（百万円）	107	173	330
1株当たり 当期純利益（円）	14.39	23.29	44.38
自己資本 当期純利益率（%）	1.0	1.6	3.1

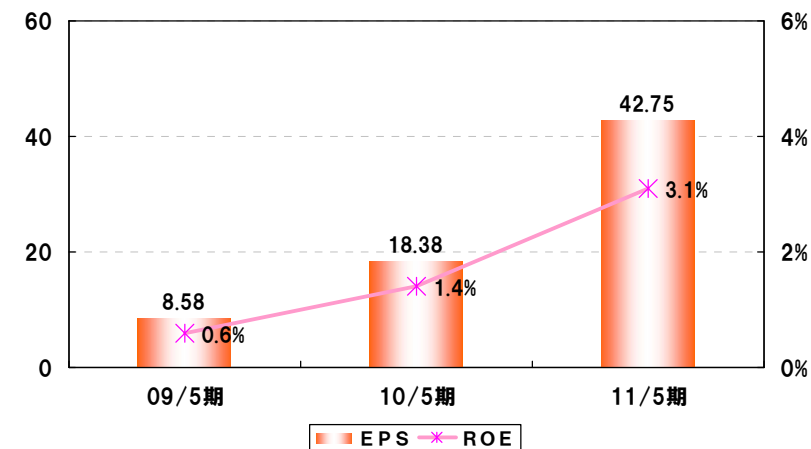
（単位:円）



単体EPS・ROE

	09/5期	10/5期	11/5期
当期純利益（百万円）	64	136	318
1株当たり 当期純利益（円）	8.58	18.38	42.75
自己資本 当期純利益率（%）	0.6	1.4	3.1

（単位:円）



2. 2012年5月期通期計画（連結）

（単位:百万円未満切捨）

	2011/5期 実績	2012/5期			通期増減（対前期比）	
		上期予算	下期予算	通期予算	金額	増減率
売上高	7,024	3,510	3,840	7,350	325	4.6 %
営業利益	582	145	335	480	- 102	- 17.6 %
営業利益率	8.3 %	4.1 %	8.7 %	6.5 %	—	—
経常利益	732	200	420	620	- 112	- 15.3 %
当期純利益	330	110	250	360	29	8.9 %
1株当り純利益(円)	44円38銭	14円77銭	33円56銭	48円33銭	—	—

（本予想は、為替レート1米ドル=80円、1人民元=12円を前提としております。）

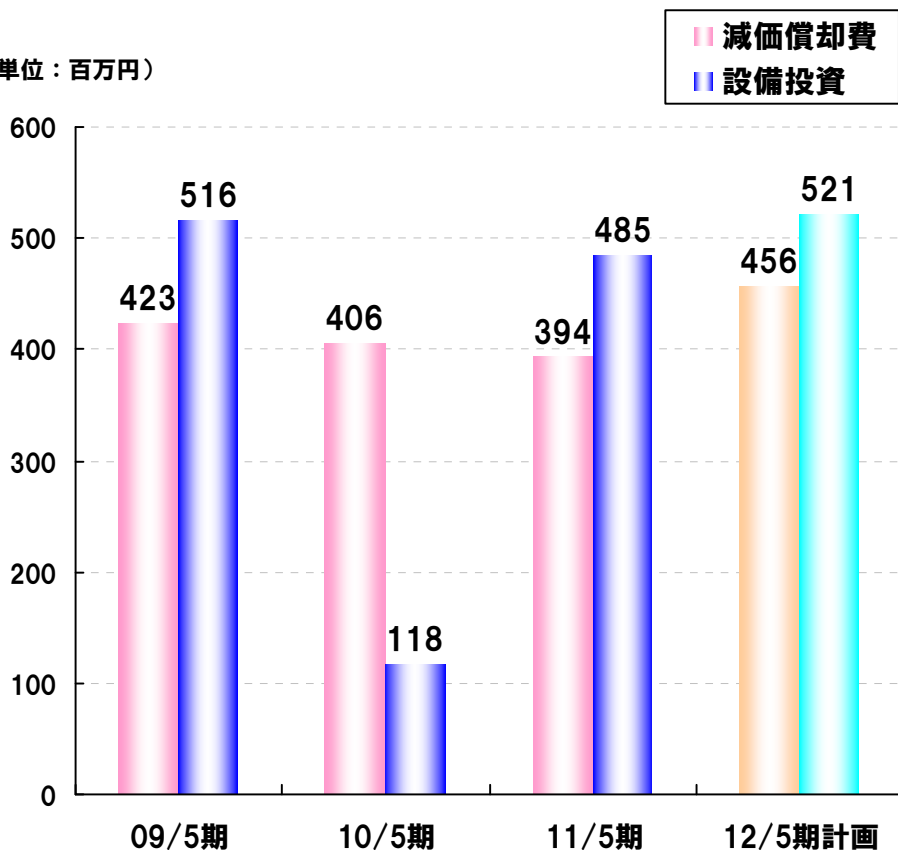
◎景気の先行きについて不透明な状況であり、慎重な通期計画ではあるが、年後半の回復基調に向け売上増加の見込み。引き続き、業務の見直し、諸経費削減を継続。

◎生産能力と技術レベルの向上を図るため、前期から継続した設備投資を実施予定。

設備投資・減価償却費推移（連結）

設備投資・減価償却費

（単位：百万円）



補足説明

◎主要設備投資

○09/5期

- ・新鋭真空蒸着装置等 1.3億円
- ・真空蒸着装置更新 0.7億円

○10/5期

- ・真空蒸着装置更新 0.3億円
- ・情報システム投資 0.2億円

○11/5期

- ・光学素子製品高度化投資 1.0億円
- ・オプトシグマ新社屋
移転改修工事 1.9億円

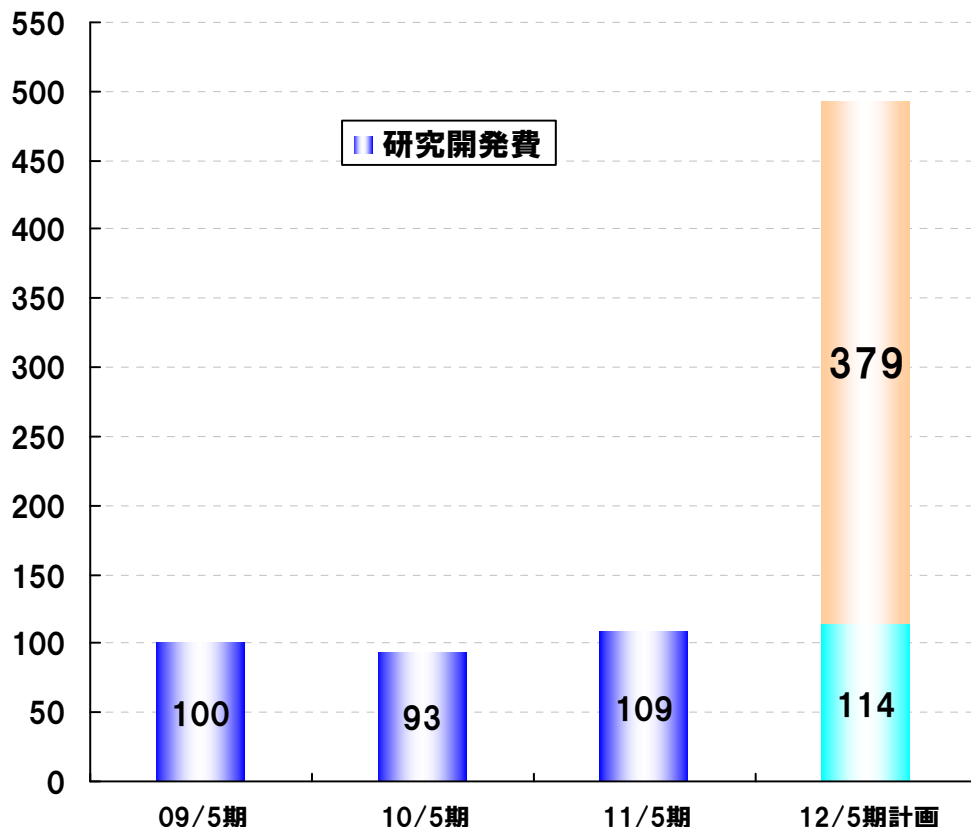
○12/5期

- ・当社グループ
光学素子製品高度化投資 1.8億円
- ・情報システム投資 1.3億円
- ・日高工場・東京本社
改修工事費 0.4億円

研究開発費推移（連結）

研究開発費

（単位：百万円未満切捨）



補足説明

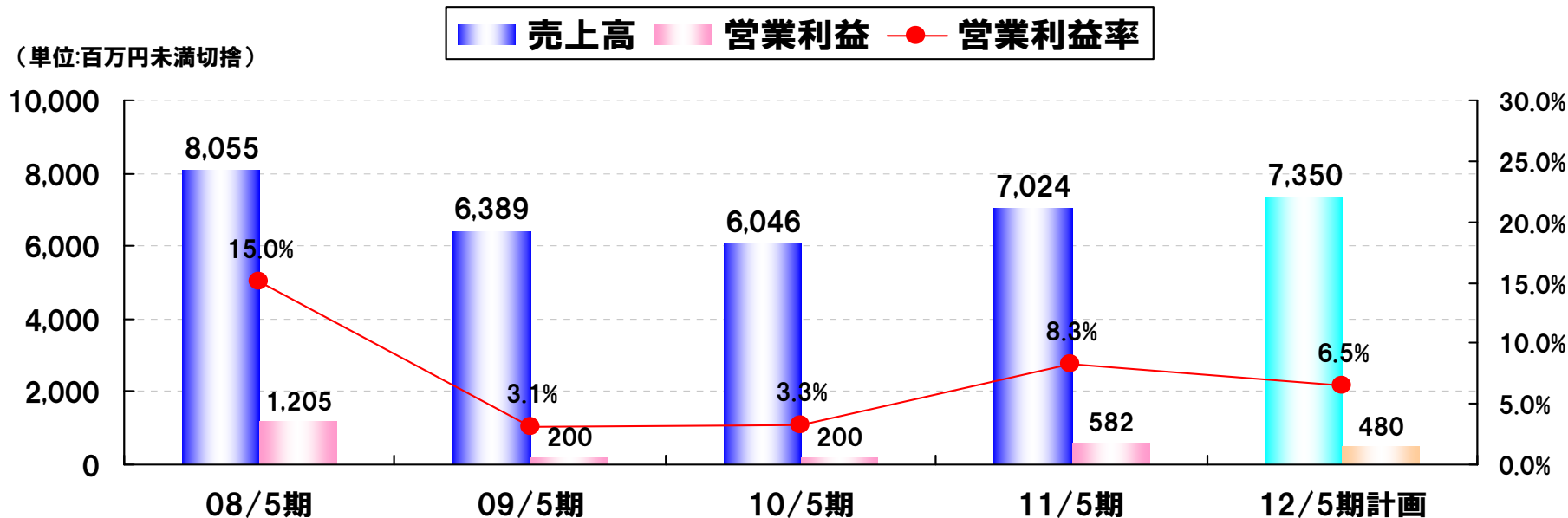
（単位：百万円未満切捨）

	自社	産学官連携
09/5期	65	35
10/5期	57	36
11/5期	77	32
12/5期	105	9
	人件費等	人件費込 売上高比率
12/5期	379	6.7%

※12/5期より、工数管理の導入を進める方針であり、生産部門での人件費のうち研究開発に充当した工数を経費に付け替えております。

（注）11/5期までの研究開発費には、人件費を含んでおりません。

売上高・営業利益・営業利益率推移

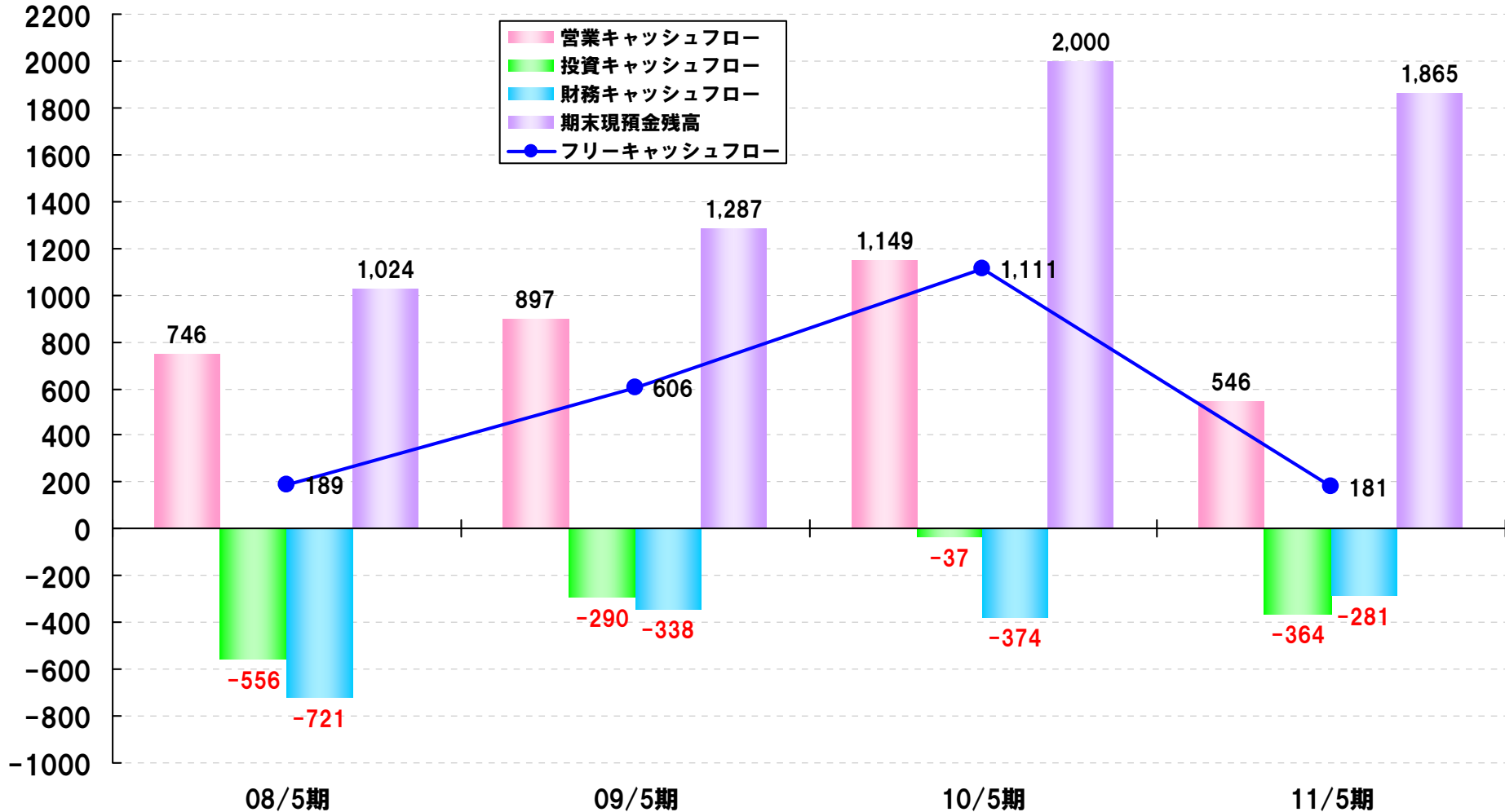


* 強固な財務体質を堅持

- ① 自己資本比率 FY08:82.2% → FY11:81.8%
- ② 利益剰余金 FY08:5,749百万円 → FY11: 5,484百万円
- ③ 純有利子負債 FY08:▲1,044百万円 → FY11: ▲2,096百万円

キャッシュフロー推移

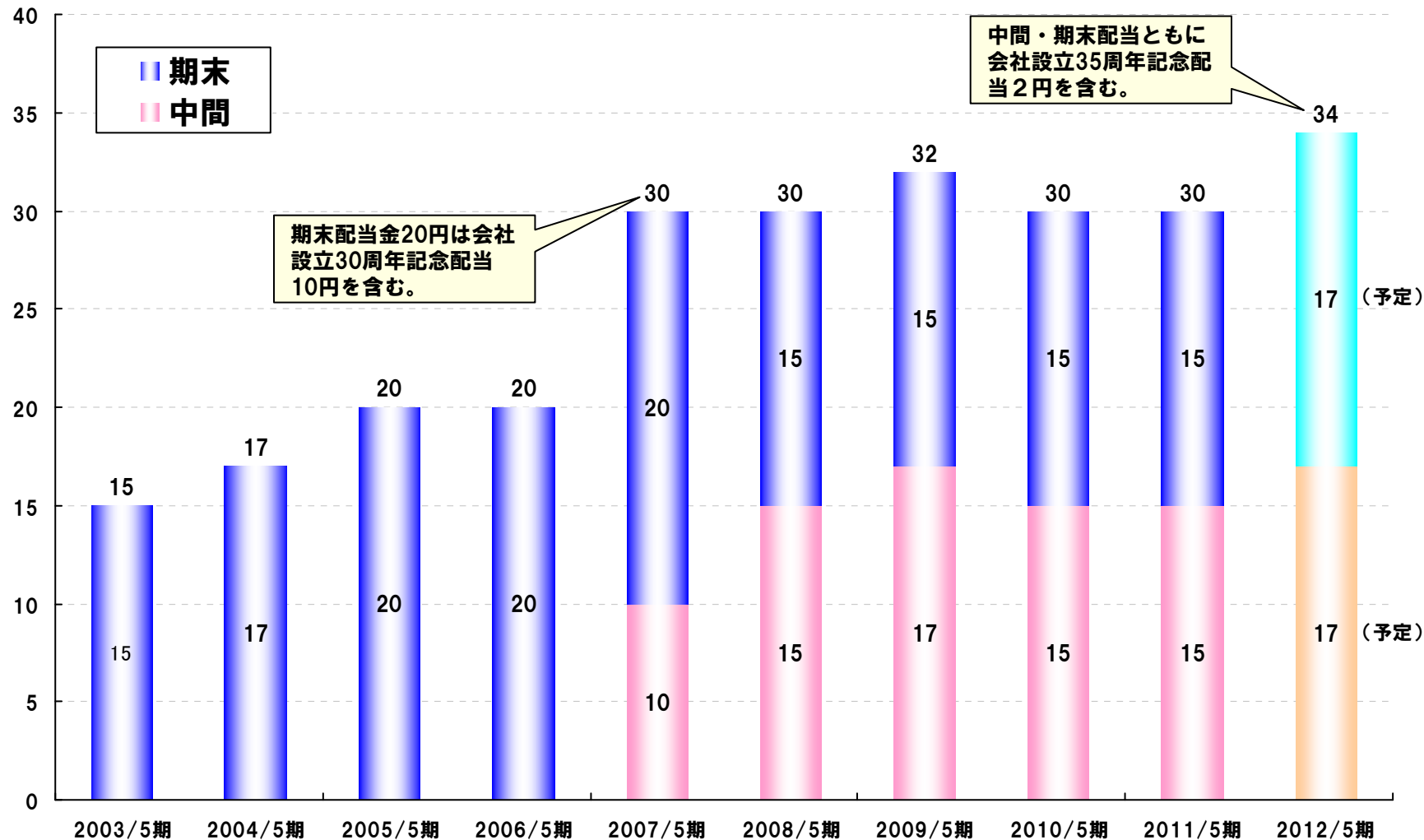
(単位:百万円未満切捨)



配当金推移

継続的・安定的な配当の実行

(単位：円)



1. 2011年5月期決算概要 & 2012年5月期見通し
経理部副部長 石井 康之

2. 2012年5月期施策
代表取締役社長 森 吟二

- **企業コンセプト**

光ソリューションカンパニー
ビジネスピラミッド

- **成長戦略**

経営方針

営業、技術開発、生産、海外子会社

シグマ光機は

『**光ソリューション カンパニー**』

を目指す

製品 と **問題解決案** の提供

(モノの価値) (サービスの価値)

☆製品を通じてサービスの価値を実現

☆国内・海外市場対応の営業サービス体制

☆部品、ユニットからシステムまでの
フルメニュー総合メーカー

☆規格製品、特注製品からOEM製品まで
可能な工場力

☆ワンストップサービスで丸ごと受注可能
一括お任せ下さい

ビジネスピラミッド

国内・海外マーケット

(カタログ、対面提案、WEB、展示会)

要素部品とユニットをベースに光ソリューション

(規格・特注 フルメニュー トータルサービス)

基本機器製品

自動応用製品

光学素子製品

システム製品

営業・開発・生産・経営管理・OS・SSK

人財と資金

〈経営方針〉

- ・ 成長分野、注力製品への集中投資
- ・ 企業ブランドの浸透

〈営業〉

- ・ 国内市場及びアジア市場の争奪

〈技術開発〉

- ・ 光学、制御、ソフトの要素技術ブラッシュアップ

〈生産〉

- ・ 生産本部設立と生産システムの強化

〈海外子会社〉

- ・ オプトシグマ、上海シグマ光機の拡大投資

〈経営方針〉

- **成長分野、注力製品への集中投資**
観察光学系、自動位置決め系、
レーザ加工系、バイオ系、光学計測器系
の**キーパーツ、キーユニット**
- **企業ブランドの浸透**
海外展示会（米国C A，中国上海）を通じ
企業認知度の向上

海外展示会

Photonics West 2011
(2011年1月25日~27日)



LASER World of PHOTONICS China 2011
(2011年3月15日~17日)



〈営業〉

• 国内市場及びアジア市場の争奪

☆主軸は国内市場、副軸はアジア市場

国内市場 : 直販、代理店網

アジア市場 : 代理店網、技術サポート出張
(産業用ボリューム市場)

☆カタログ営業と対面提案営業 (OEM)

WEB、展示会



東京本社



大阪支店



九州営業所



オプトシグマ

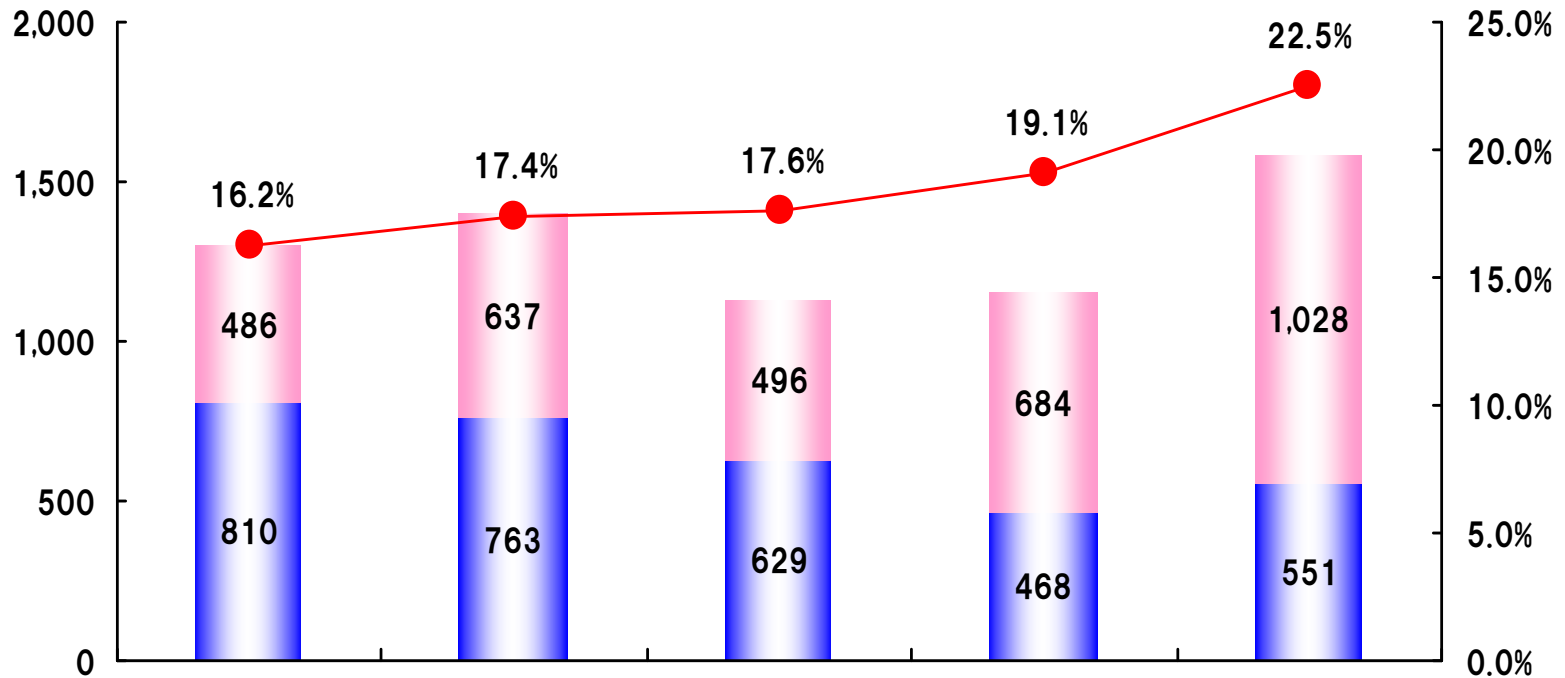


上海シグマ光機

海外売上高推移

(単位:百万円)

■ 北米 ■ その他の地域 ● 海外売上高比率



(単位:百万円)

FY07

FY08

FY09

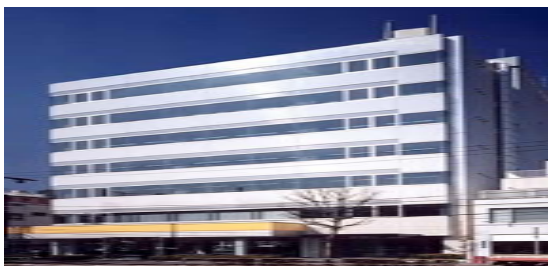
FY10

FY11

海外売上高	1,296	1,400	1,125	1,153	1,579
全社売上高	8,015	8,055	6,389	6,046	7,024

〈技術開発〉

- **光学、制御、ソフトの要素技術ブラッシュアップ**
技術者増員、育成等人財投資
光学設計技術、機構設計技術
制御技術、ソフトウェア技術



東京本社



本社・日高工場

〈生産〉

- **生産本部設立**

3工場統括管理体制（One voice system）

- **生産システムの強化**

モノづくり体制基盤強化（QCD）

技能者増員、育成、多能工化

コストダウン

光学素子部門優先投資（研磨、薄膜）



本社・日高工場



技術センター



能登工場

〈海外子会社〉

オプトシグマ
(米国、CA)



(外観)

上海シグマ光機
(中国、上海)



(外観)



(事務室)



(コーティング室)



(検査室)

将来の見通しに関する注意事項

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証はいたしかねますのでご留意ください。